

平成21年度 実務実習事前学習 学習項目および教材一覧

(4) 医薬品の管理と供給			具体的な学習内容	テキストなど			
LS	到達目標			薬学スタンダードシリーズ	第十二改訂調剤指針	ビジュアル	補助教材
特に記載しない場合の学生数は60名。		実施案					
《医薬品の安定性に注目する》							
S401	◎医薬品管理の意義と必要性について説明できる。	講義1コマ	1) 医薬品の採用 ①薬事委員会 2) 医薬品の購入 ①購入管理・発注・検収 ②在庫管理 ③供給管理・箱渡方式・定数配置方式・サテライトファーマシー ④使用管理 ⑤品質管理 ⑥保管管理 3) 医薬品管理と関係法規 ①処方箋医薬品 ②生物由来製品 ③特定生物由来製品 4) 治験薬の管理とGCPについて・治験薬管理者・治験薬管理者・治験コーディネーター (CRC)・モニタリング 5) 医薬品管理と情報管理・医薬品情報管理 5) 特殊な薬剤の管理・サリドマイド	ST(事前学習)p172-176	調剤指針p357-364		調剤学総論 改訂第9版(南山堂)p111-115、サリドマイド(DVD)
S402	◎代表的な剤形の安定性、保存性について説明できる。	講義1コマ	1) 温度・GMP・使用期限・有効期間・有効期限 2) 内服薬の安定性、保存性 ①錠剤・カプセル剤 ②散剤 ③水剤 3) 外用剤の安定性、保存性 ①点眼剤と耳鼻科用液剤 ②軟膏剤・クリーム剤 4) 注射剤の安定性、保存性・酸化防止剤・遮光・不活性ガス・保存剤:インシュリン注射液、局所麻酔注射液・褐変現象	ST(事前学習)p177-181、			調剤学総論 改訂第9版(南山堂)p123-127
《特別な配慮を要する医薬品》							
S403	◎毒薬・劇薬の管理および取扱いについて説明できる。◎麻薬、向精神薬などの管理と取扱い(投薬、廃棄など)について説明できる。	講義1コマ	◎1) 毒薬・劇薬の表示 ①毒薬 ②劇薬 2) 毒薬・劇薬の譲渡手続 3) 毒薬・劇薬の交付の制限 4) 毒薬・劇薬の貯蔵および陳列 ◎1) 麻薬に関する取締り ①免許、②麻薬の管理・保管 ③購入(譲渡、譲受) ④施用、麻薬処方せん ⑤記録 ⑥報告 ⑦廃棄 ⑧事故 ⑨麻薬中毒患者の診断届および転帰届 ⑨麻薬中毒患者の診断届および転帰届 2) 向精神薬に関する取締り・第1種～第3種 ①保管 ②事故 ③記録 ④廃棄 3) 3. その他(覚せい剤取締法)	ST(事前学習)p182-185、 ST(事前学習)p186-189、	調剤指針p365-372		調剤学総論 改訂第9版(南山堂)p294、388、p116-118、第一三共資料及びスライド、
S404	◎血漿分画製剤の管理および取扱いについて説明できる。◎輸血用血液製剤の管理および取扱いについて説明できる。	講義1コマ	◎1) 主な血液製剤の分類と使用目的 2) 血漿分画製剤とは 3) 改正薬事法の概要・生物由来製品・特定生物由来製品 4) 使用の際の説明と理解 5) 血漿分画製剤の保管管理 6) 血漿分画製剤の取扱い 7) 記録の作成・保管 ◎1) 輸血用血液製剤について ①輸血用血液製剤 ②成分輸血 2) 輸血用血液製剤の保管管理 3) 輸血用血液製剤の取扱い ①全血製剤・赤血球製剤 ②血漿製剤 ③血小板製剤 4) 輸血と移植片対宿主病 5) インフォームドコンセント(説明と同意)・薬害(変異型クロイツフェルト・ヤコブ病他) 6) 使用の記録・保管	ST(事前学習)p190-195、			血液製剤の使用にあたって 第4版(じほう)、調剤学総論 改訂第9版(南山堂)p480-483、田辺三菱資料集(パンフレット、スライド)、(株)ベネシス資料及びホームページPDFファイル

平成21年度 実務実習事前学習 学習項目および教材一覧

S405	◎代表的な生物製剤の種類と適応を説明できる。◎生物製剤の管理と取扱い(投薬、廃棄など)について説明できる。	講義1コマ	◎1)生物製剤とは 2)生物学的製剤、・生物学的製剤基準、・ワクチン、・トキシノイド、・抗毒素製剤、・インターフェロン製剤、・血液製剤 ①生ワクチン・生ワクチン、・弱毒性ウイルスワクチン、・BCG ②不活化ワクチン・不活化ワクチン、・菌体ワクチン、・成分ワクチン、・トキシノイド、・免疫補助物質(アジュバント)、・DPT ③抗毒素製剤 ④血漿分画製剤・血液凝固因子製剤、・アルブミン製剤、・免疫グロブリン製剤 3)バイオ医薬品・遺伝子組換え医薬品 ①インターフェロン製剤 ②モノクローナル抗体製剤 ③その他のバイオ医薬品 ◎1)生物製剤の特性と品質管理・生物製剤、・生物学的製剤、・バイオテクノロジー応用医薬品(バイオ医薬品)、・生物由来製品、・指定医薬品、・劇薬、・処方せん医薬品 2)一般的な管理と取扱い ①保管条件および有効期限 ②投薬時の取扱い・無菌操作、配合変化、・医療廃棄物、・感染性廃棄物、・特別管理産業廃棄物	ST(事前学習)p196－203、		ビジュアル3 p167－171	調剤学総論 改訂第9版(南山堂)p119-121、田辺三菱資料集(パンフレット、スライド)
S406	◎毒薬・劇薬の管理および取扱いについて説明できる。◎血漿分画製剤の管理および取扱いについて説明できる。◎輸血用血液製剤の管理および取扱いについて説明できる。◎代表的な生物製剤の種類と適応を説明できる。◎生物製剤の管理と取扱い(投薬、廃棄など)について説明できる。◎麻薬の取扱いをシミュレートできる。(技能)	実習3コマ	1.取扱い免許の取得 ・麻薬 ・病院・診療所 ・薬局 1)取扱い免許の取得・麻薬、・病院・診療所、・薬局 2.2)麻薬管理・保管にかかわる環境整備 ・麻薬施用台帳 ・麻薬保管証	ST(事前学習)p204－205、			
S407	◎代表的な放射性医薬品の種類と用途を説明できる。◎放射性医薬品の管理と取扱い(投薬、廃棄など)について説明できる。	講義1コマ	◎1)放射性医薬品とは 2)放射性医薬品の分類 3)in vivo診断用放射性医薬品 ①in vivo診断用放射性医薬品の特徴 ②in vivo診断用放射性医薬品に用いられる放射性同位元素 ③代表的なin vivo診断用放射性医薬品 a.脳機能診断薬、b.心機能診断薬、c.骨シンチグラフィ剤、d.甲状腺シンチグラフィ剤、e.腎シンチグラフィ剤、f.腫瘍シンチグラフィ剤・ポジトロン核医学 ④代表的なin vivo治療用放射性医薬品 ⑤体外使用放射性医薬品(in vitro放射性医薬品) ◎1)放射性医薬品の使用、・指定医薬品、・処方せん医薬品、・医療法、・障害防止法 2)放射性医薬品の供給・放射性医薬品基準 3)放射性医薬品の保管・貯蔵 4)放射性医薬品の投与・MIRD法 5)放射性廃棄物の廃棄	ST(事前学習)p206－214、			調剤学総論 改訂第9版(南山堂)p483-491
《製剤化の基礎》							

平成21年度 実務実習事前学習 学習項目および教材一覧

S408	◎院内製剤の意義、調製上の手続き、品質管理などについて説明できる。	講義1コマ	1)院内製剤の意義と目的 2)院内製剤の分類 3)調製上の注意点 4)品質の確保	ST(事前学習)p215－217	調剤指針p140－143、146－147		
S409	◎薬局製剤の意義、調製上の手続き、品質管理などについて説明できる。	講義1コマ	1)薬局製剤の意義と目的 2)調製上の注意点 3)品質の確保	ST(事前学習)p218－219	調剤指針p140－143、146－147		
S410	◎代表的な院内製剤を調製できる。(技能)	実習1コマ	1)院内製剤:軟膏の製造(2コマ分は総合学習に回す)	ST(事前学習)p220－224	調剤指針p140－143、146－147		
S411	◎無菌操作の原理を説明し、基本的な無菌操作を実施できる。(知識・技能)◎抗悪性腫瘍剤などの取扱いにおけるケミカルハザード回避の基本的な手技を実施できる。(技能)	実習6コマ	1)無菌操作法 2)滅菌と滅菌法 3)設備と作業環境 4)手洗い、ガウンテクニック 5)シリンジ・注射針の取り扱い 6)ケミカルハザードとその対策 7)調製時の事故対策	ST(事前学習)p225－235	調剤指針p22－255、196－204、229－238		手洗いDVD(看護学部から入手)、 抗がん剤調整マニュアル(DVD)、 注射剤・抗がん剤無菌調製ガイドラインー健全な医療環境のために抗がん剤の正しい取扱い方(DVD有り)
《注射剤と輸液》							
S412	◎注射剤の代表的な配合変化を列挙し、その原因を説明できる。◎代表的な配合変化を検出できる。(技能)	実習3コマ	1)注射剤の種類および投与方法 2)注射剤の配合変化の原因 3)変化点pHおよびpH変動スケール 4)pH非依存性の配合変化 5)pH変動試験 6)滴定酸度	ST(事前学習)p236－244	調剤指針p205－209		注射薬調剤監査マニュアル第3版
S413	◎代表的な輸液と経管栄養剤の種類と適応を説明できる。◎体内電解質の過不足を判断して補正できる。(技能)	実習3コマ	1)輸液剤の分類 2)複合電解質輸液 3)高カロリー輸液の構成成分と処方設計 4)末梢静脈栄養 5)経腸栄養剤の種類と使用方法 6)電解質の計算方法	ST(事前学習)p245－252	調剤指針p215－221		病院・薬局実務実習事前学習テキストp73－76
《消毒薬》							
S414	◎代表的な消毒薬の用途、使用濃度を説明できる。◎消毒薬調製時の注意点を説明できる。	講義1コマ	1)消毒薬の分類と抗菌スペクトル 2)用途に応じた消毒薬の選択 3)消毒薬の使用濃度と使用期限 4)消毒薬の主な対象と使用上の注意点	ST(事前学習)p253－262		ビジュアル4 p136－138	消毒薬ハンドブックおよびDVD(メーカーから入手)